

第4期みやぎ観光戦略プランの平成30年度の実施状況について【概要版】～みやぎ観光創造県民条例第12条に基づく報告～

- ①計画の位置づけ ■「みやぎ観光創造県民条例」に定める観光振興に関する基本計画 ■「宮城の将来ビジョン」の分野別計画「地域が潤う、訪れてよしの観光王国みやぎの実現」 ■「宮城県震災復興計画」の分野別計画「多様な魅力を持つみやぎの観光の再生」
- ②計画期間 **平成30年度から令和2年度まで**
- ③計画の基本理念 **観光の再生から未来につなぐ新たなステージへ**
- ④平成30年度事業の実施状況 **【事業数】130事業（再掲除く：90事業）【事業費】20,035,214千円（再掲除く：18,450,221千円）（再掲・道路関係事業費除く：2,450,224千円）**

⑤4つの観光戦略プロジェクトの具体的な取組（平成30年度実施事業）

戦略プロジェクト1 東北が一体となった広域観光の充実と誘客プロモーション【39事業・753,598千円】

- (1) 東北の広域観光周遊ルートの確立と観光資源の磨き上げ
- (2) 東北の魅力を伝える一体的な誘客プロモーション
- (3) 仙台空港等の活用や二次交通の充実による東北の周遊促進


▼東北観光推進機構等と連携した広域観光の取組強化（観光課・アジアプロモーション課・18,500千円）
東北各県及び新潟県知事等による大連トップセールス等のプロモーションを行った。
(8/23～26大連トップセールス, 12/14～16日本東北遊楽日)

▼他県連携等による外国人観光客誘致促進事業（アジアプロモーション課・24,454千円）
南東北三県によるタイ向けプロモーションやインバウンド向け防災観光プログラムの造成を行った。
(防災観光プログラム：11コース追加, 防災観光ツール：新規5,498人・66,012ビュー等)


▼東北連携による外国人観光客誘致促進事業（アジアプロモーション課・63,298千円）
広域的な連携による東北一体の観光地の魅力向上や統一的なプロモーションの展開を行った。
(マーケティング人材育成研修会：6回, 冬の東北と着地コンテンツ：商品造成106件等)

▼二次交通利用拡大事業（観光課・29,300千円）
仙台空港からの二次交通のプロモーション強化やモデルルートの造成等を行った。
(動画視聴回数：約120万回, モデルルート造成：4本, モデルプラン造成：4本)

▼仙台空港地域連携・活性化事業（空港臨空地域課・19,504千円）
パスポート取得費の一部を助成するキャンペーンを実施し、仙台空港を利用した海外旅行の促進を図った。
(パスポート取得費用助成人数：587人)



東北各県等知事による大連トップセールス



二次交通PR動画

戦略プロジェクト2 観光産業の連携強化と成長促進【35事業・1,206,843千円】

- (1) DMO等の形成による魅力ある観光地域づくり
- (2) 観光産業の成長に向けた基盤強化


▼魅力あふれる松島湾観光創生事業（観光課・4,995千円）
松島の観光地域づくりをリードできる人材育成のため「松島湾観光人材育成未来塾」を行った。
(「松島湾観光人材育成未来塾」実施回数：4回・延べ38人)

▼仙台・松島復興観光拠点都市圏事業（観光課・124,329千円）
拠点都市圏において、マーケティングリサーチや観光資源の発掘・磨き上げ、受入体制整備を行った。
(ワーキンググループ開催：4回, 造成ツアー参加者：151名, ガイド育成講座等受講者数：73名)


▼宮城オルレ推進事業（観光課・69,545千円）
韓国・済州島発祥のトレッキング「宮城オルレ」の新規コース造成やオープニングイベントを行った。
(H30.10月2コース開設・オープニングイベント実施, オルレ利用者：7,555人(H31.3月現在))

▼観光事業者連携モデル事業（観光課・14,517千円）
観光事業者の連携促進のため、ワークショップを開催し、インバウンド向け旅行商品を造成・販売した。
(ワークショップ開催回数：4回, インバウンド向け観光商品造成数：5本)

▼みやぎ観光戦略受入環境基盤整備事業（観光課・214,050千円）
観光客の安全に配慮した自然公園施設の整備や老朽化施設の再整備を行った。
(世界谷地湿原の木道全面改修, 蔵王・栗駒レストハウスの再整備, 蔵王トイレ改修等)



DMO主催ツアー
(日本版バーホッピングツアー)



改修後の世界谷地木道

戦略プロジェクト3 外国人観光客の誘客加速化【36事業・699,893千円】

- (1) 東アジア市場を中心とした誘客プロモーション
- (2) 風評払拭のための正確かつ戦略的な情報発信等
- (3) 訪日外国人受入環境整備の推進


▼欧米豪を対象とした長期滞在型観光プロモーション事業（国際企画課・28,663千円）
欧米豪の富裕層を対象とした観光コンテンツ磨き上げや小型プロペラ機のデモフライト等を行った。
(観光コンテンツ磨き上げ研修会等参加者数：42人, デモフライト延べ搭乗者数：30人)

▼外国人観光客誘致促進事業（アジアプロモーション課・25,949千円）
台湾等からの観光客誘致のため、旅行博への出展やマスコミ等の招請等のプロモーションを行った。
(台湾からの教育旅行：16校・461人, インセンティブツアー旅行会社等招請数17人)


▼訪日教育旅行誘致促進事業（アジアプロモーション課・12,347千円）
主に台湾市場からの教育旅行の受入促進セミナーや学校関係者等のモニターツアーを行った。
(受入促進セミナー：7箇所・68人, モニターツアー：3回・30人, 中国教育旅行関係者招請：9人)

▼中国等FIT・SIT対応基盤整備事業（アジアプロモーション課・5,514千円）
中国からのFIT・SIT誘客促進のためスキー客受入やキャッシュレス決済セミナーを行った。
(スキー場関係者向けセミナー：5回, キャッシュレス決済セミナー：2回)

▼外国人観光客受入環境整備促進事業（観光課・14,035千円）
宿泊施設や観光集客施設における無線LAN機器設置や案内表示の多言語化等の導入経費を支援した。
(無線LAN機器等交付決定：12件)



観光コンテンツ磨き上げ研修会



台湾からの教育旅行

戦略プロジェクト4 沿岸部のにぎわい創出【20事業・17,374,880千円】

- (1) 魅力ある観光資源の磨き上げと正確な情報発信
- (2) 観光施設等の再建と受入態勢整備強化


▼通年観光キャンペーン事業（観光課・190,217千円）
観光キャンペーンキャラクターを起用し、様々な媒体による通年の観光キャンペーンを行った。
(PR動画視聴回数：約1,008万回, スタンプラリー参加者：32,801件)

▼県外観光客支援事業（観光課・39,500千円）
旅行会社・学校等への沿岸部のツアーやプログラムの情報提供、受入先とのマッチングを支援した。
(「みやぎ教育旅行等コーディネート支援センター」マッチング件数96件・3,966人)


▼沿岸部教育旅行等受入拡大事業（観光課・10,643千円）
県外から沿岸部への団体旅行に対してバス経費を助成したほか、教育旅行の情報収集・発信を行った。
(「みやぎ沿岸部団体旅行バス助成金」交付決定：43件・3,050千円)

▼沿岸部交流人口拡大モデル施設整備事業（観光課・474,829千円）
沿岸部における集客力のある宿泊・観光集客施設の設置に要する経費の一部を助成した。
(交付決定：モデル観光集客施設設置型4件)

▼震災復興広報強化事業（震災復興推進課・40,820千円）
震災の風化防止、支援の継続につなげるため、県内外に向けて各種媒体を活用し、情報発信を行った。
(広報誌「NOW IS.」月2万部発行, 「みやぎ・復興の歩み8」15,000部発行 他)



通年観光キャンペーンポスター



沿岸部交流人口拡大モデル事業
(東松島市のKIBOTCHA)

⑥数値目標に対する進捗状況

目標指標	基準値 (平成28年)	実績値 (平成30年)	目標値 (令和2年)
1 観光客入込数	6,084万人	6,414万人	7,000万人
2 沿岸部（石巻・気仙沼地域）の観光客入込数	552万人	754万人	805万人
3 宿泊観光客数	922万人泊	941万人泊	1,000万人泊
4 沿岸部（石巻・気仙沼地域）の宿泊観光客数	67万人泊	76万人泊	75万人泊
5 外国人観光客宿泊者数	17.5万人泊	36.4万人泊	50万人泊
6 観光消費額（観光庁共通基準による観光客入込統計）	3,044億円	3,879億円	4,000億円

⑦本計画の実施状況の検証

- 平成23年に発生した東日本大震災の影響により落ち込んだ我が県の観光客入込数等は、平成26年度から29年度までを計画期間とする「第3期みやぎ観光戦略プラン」に基づく施策により観光の復興・再生に取り組んだ結果、ほぼ震災前の姿を取り戻した。
- 平成30年度は、宮城県震災復興計画の「再生期」の事業を継続しながらも、「発展期」の初年度として130事業を積極的に展開した。
- 国内向けには、通年観光キャンペーンや「宮城オルレ」新規コースのオープニングイベント等を実施し、海外向けには、中国・大連における東北六県知事等によるトップセールス等の実施や、欧米豪の富裕層をターゲットとした事業等に取り組んだ。
- 沿岸部のにぎわい創出に向けて、沿岸地域の情報発信、教育旅行等のマッチング及び宿泊施設・観光集客施設等の整備支援を行った。
- 「観光客入込数」、「外国人観光客宿泊者数」等で過去最高を記録した。
- 震災後の沿岸部での取組のほか、国の交付金を活用した事業等の取組の成果が観光客入込数等の実績値に反映されており、「第4期みやぎ観光戦略プラン」の基本理念である「観光の再生から未来につなぐ新たなステージ」に向けて、着実に成果は表れている。